

もうひとつ

兵庫WELT

ふゆに あそぶ
ふるさと文化シリーズ

イラスト 高橋 孟

フランスから国生^{くにう}みの島へ 友好のモニュメント

齋藤

博さん

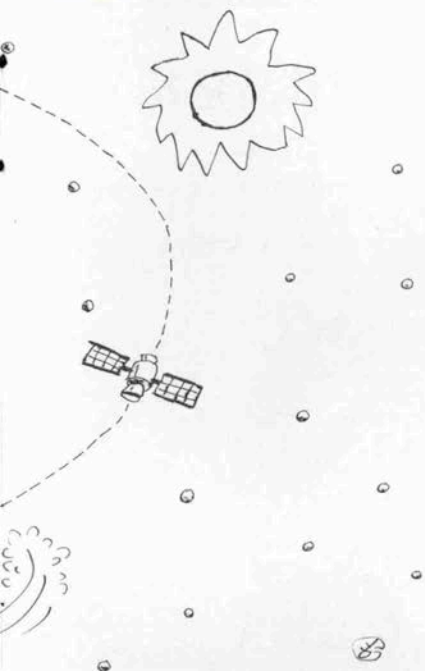
〈日仏友好のモニュメント
日本委員会準備会事務局部長〉

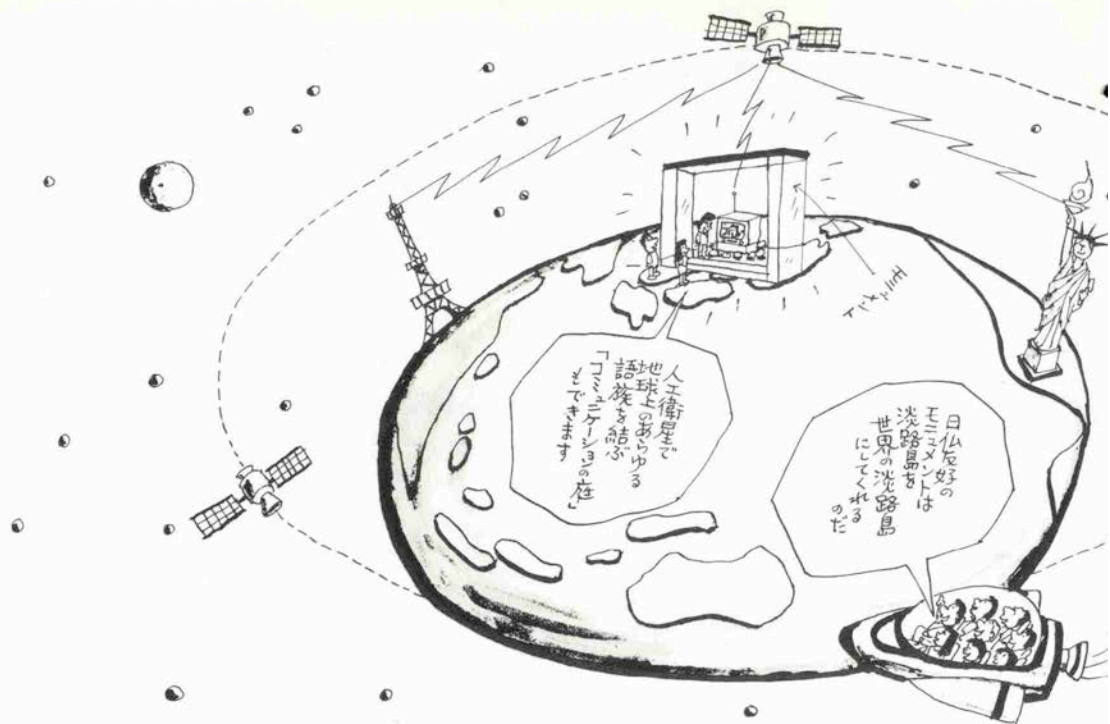
フランス革命二百年を記念して、フランス国民から日本国民に、友好のモニュメントを贈ろうという運動がすすめられています。そこで、日仏友好のモニュメント日本委員会準備会事務局に齋藤部長さんを訪ね、お話をうかがいました。

「建設予定地が淡路島に決定したのが88年11月、そして今年の6月にはデザイン・コンペの最終審査会がパリで開かれ、建築家パトリック・ベルジェ氏（作家J・P・ヌオー氏共作）の『淡路回帰線の庭』が優勝作品に決定しました。」

—— きっとスケールの大きい作品なんでしょうね。

「高さ八〇メートルのガラスの支柱の上に、幅三〇メートル、長さ三百五十五メートルの青銅の板をかけたシンブルな形で、日本の大島居にも通じるイメージがあります。台座には、フランス・ブルターニュ地方のバツ島から切り出された花崗岩を使い、周囲には日本庭園の山水をイメージして水が流れ、モニュメントがあたかも水に浮かんでいるように演出されています。そして、ここには建築素材をはじめ工法的にも新しい技術提案が盛り込まれており、石、青銅、ガラス、それに木材といった素材の歴史の変遷を示して





いる、ともいえます。このモニュメントが完成しますと、パリのエッフェル塔、ニューヨークの自由の女神とともに世界の三大モニュメントの一つともなるでしょうね。」

テーマは「コミュニケーション」ということですが、ニューヨークの自由の女神が「自由」の象徴であったように、二十一世紀を目前にしてフランスは世界へのコミュニケーションの広がり求めている、といえますね。

「比較的若い地層の淡路に、ヨーロッパでも最古といわれる二十億年前の花崗岩を設置し、また、青銅板の中に組み込まれている通信装置を通じて、世界の様々な映像が周囲に届けられた八つのコミュニケーションの庭に映し出されます。これは時を越え、空間を越えた「詩的な回帰線」をイメージすることで、テーマを具体的に表現したものです。」

淡路島の新しいシンボルですね。「明石海峡大橋とほぼ同じ時期に完成を予定しているこのモニュメントは、支柱のスリットから大橋を臨むことができます。それはまさに、リゾート構想がすすむ淡路島はもちろんのこと、二十一世紀の大阪ベイエリアのシンボルともいえます。」



エルアイシーは不動産を
芸術で考える会社です

企業は人なり。

人は活かされて、喜び、感謝し、成長し、生きるもの——

土地・建物も又、活かされてこそ、生きるもの——

エルアイシーは、創業以来、不動産を“どう活かすか”ということテーマとしてコツコツと、真面目に、丁寧に、貸したい方と借りたい方、売りたい方と買いたい方の真の仲人として、それぞれの方々の心を大切に歩んで参りました。

この度、エルアイシーは、加古川駅前第2地区市街地再開発ビルの事業に伴う保留床の売却企画、及びカピル21専門店街のテナント企画を、再開発組合理事長様はじめ、他の理事の方々、権利者の方々のご信頼の基に一括して委託して頂き、さる9月15日に『加古川駅前カピル21そごう専門店街』として、盛大にオープンする事が出来ました。

これは、私が申して参りました“まかし、まかされるという事”の成功事例のひとつであると思います。

エルアイシーは、今後ともお客様のよりよき仲人、よりよき相談相手に徹し、王道に則り、心をこめてお客様方の繁栄の為に、屈せず、媚びず、奉仕の精神で、尽くさせて頂きたいと思っております。



株式会社エルアイシー 代表取締役

青 木 幸 夫



エルアイシーは加古川そごうカピル専門店街の
テナント企画、コーディネートを致しました。



商業不動産事業計画コンサルタント

エルアイシーは加古川そごうカビル専門店街の
テナント企画、コーディネートをしました。



婦人服 カンダ



和洋菓子 コトブキ



薬局 シンヤクドール



ドーナツ サンデーズ



商業不動産事業計画コンサルタント

株式会社 エルアイシー 〒650 神戸市中央区港島中町6丁目9番地の1 ポートアイランド 国際交流会館8F TEL 078-302-4008代 FAX 078-302-1320



街に新しい光を！



レディース インクイン



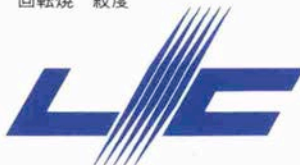
婦人衣料 イズムプレゼンテーション



回転焼 紋度



生花 メイフラワー



商業不動産事業計画コンサルタント

株式会社 エルアイシー 〒650 神戸市中央区港島中町6丁目9番地の1 ポートアイランド 国際交流会館8F TEL 078-302-4009代 FAX 078-302-1320

エルアイシーは加古川そごうカビル専門店街の
テナント企画、コーディネートを致しました。



ファミリーウェア POKI HOUSE



婦人服 サロンド・マスヤ



婦人服 フロムファースト・セスト



婦人服 ジ・エンポリウム・フレスコ
ポールシー・マカフィ
トップ401



商業不動産事業計画コンサルタント

株式会社 エルアイシー 〒650 神戸市中央区港島中町6丁目9番地の1 ポートアイランド 国際交流会館8F TEL.078-302-4009代 FAX.078-302-1320

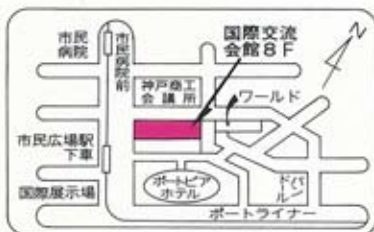


街に新しい光を！

商業不動産の売却・購入・有効活用・テナント企画・収益ビル企画のご相談は、商業不動産専門の事業計画コンサルタント会社エルアイシーに御連絡下さい。

業 務 内 容

- ・商業施設、テナント企画コーディネートコンサルタント
- ・土地有効利用計画コンサルタント
- ・相続・事業用財産継承コンサルタント
- ・商業ビル・マンション事業計画コンサルタント
- ・商業ビルのコンセプト企画コンサルタント



株式会社 エルアイシー

TEL (078) 302-4009



婦人服 プライベート・レーベル トップ401



紳士服 クリスチャンディオール・ムツシュ
シー・エフ・ハサウェイ
トップ401



商業不動産事業計画コンサルタント

PHOTO: K18、ダイヤモンド0.98cts、ルビー1.29cts、¥1,350,000



明るい表通りで

落ち葉で素敵になった表通り、突然あなたがくれた小さなプレゼント。
私はあなたのコートの裾を力いっぱいつかみ、黙って後をついていだけ。

HAKUHODO

白寶堂

米国宝石学会 鑑定鑑別士 (G.I.A.G.G.) 大野治代 他2名

●六甲店 ☎078(881)6000 ●カーラ(婦人服とジュエリー) ☎078(843)4100 ●ラポルテ芦屋店 ☎0797(22)8800

Coffee Break



★クラウス・ベルナー氏
来日

西独マインツ大学ピアノ教授のクラウス・ベルナー氏が10月13日ポートピアホテルでの永井和子大阪音楽声楽科教授との演奏会のために来日した。氏は、ピアニストの大家、コクトー、フィッツジャー、ケンプ氏らに師事、今回のコンサート



ではコクトー氏より学んだリョパンの前奏曲作品28全24曲もプログラムにある。氏は今回の永井教授との演奏会について、「国際的なこの演奏会は大変貴重なものになり、文化に国境の壁のないことを示す演奏会になるだろう。2人の芸術的インスピレーションが重なり、すばらしい二重奏になることを期待する。」と語った。

この演奏会その他岡山で10月13日にジョイントコンサート、10月17日に武庫川女子大で講演も行なった。

★望月美佐「動の書」を
沖縄古典音楽と

11月23日(祝)から沖縄で開催される実年代のスポーツと文化の祭典「第二回サントビ



ア沖縄」。

そのオーブニングセレモニーで、神戸出身の書道家望月美佐さんが「動の書」を披露する。

望月さんは様々な音と競い、光と和みなら舞が台上に設置された巨大なパネルやびょうぶに筆を走らせる独特の方法を生み出した。同祭典で沖縄古典音楽の照喜名朝一さんとジョイントを予定している望月さんは「沖縄の音楽との共演は大変楽しみです。伝統文化と書の魅力を心ゆくまで味わってもらいたい。」と意欲的。

★人間のドラマを
キャンパスいっぱいに：
神戸新聞社で31年間美術欄を担当する傍ら、油彩画制作に力を注いできた草野拓郎さんが今年5月神戸新



開社を退職、このほど姫路学院女子短期大学助教授に就任した。大学へは週4回通い、

休日は緑の多いアトリエ周辺をモチーフを探して散策したり、友人の個展巡りにしたりと念願の絵画制作にびっぴたり。

「このライブラリーは世紀末関係の図書を中心にしたもので、まさにワイルドにびっぴたり。

専門家が集まる研究会ではなく、一般のワイルドのファンの人々と自由に意見が交換できるサロンを開く雰囲気をもった支部にしたい」と堀江さんは語る。

★「楽しみ」に込める
個展を！

日本選抜美術展・優秀賞を受賞するなど華やかな活躍を続けている羽多悦子さんの個展が、12月7日(木)から12月12日(火)までギヤラリーさんちで開催される。



女性の青春の夢を執拗にとらえると言われる羽多さんの作品は、その核に人間の普遍な生命が感じられ、観る者の心に訴えかける。今回の個展は、「やさしさ」をテーマに、等身大の子供や大人の彫刻を中心に、彼女が愛してやまない猫などの作品が並ぶ。

「私が心でみつめ、感性」を磨きながら造りあげた作品ばかりです。どんな個展だろう——という皆さんの「楽しみ」に込えたと思います」と声を弾ませて語ってくれた。



イギリス・世紀末文学の最高峰といわれるオスカー・ワイルドを研究する「日本ワイルド協会」の関西支部が神戸に設けられた。その事務所となるのがポートアイランド内のホテル・ゴーフリッツ・15Fに開設しているフアッシュョンライブラリー「サロン・デル・リブロー」。

支部の運営にあたるのは10月13日(金)に行なわれた第一回セミナーで講師を務め、好評を博した同協会副会長の堀江珠喜さん。

動物園飼育日記

—〈287〉—

亀井一茂

〈王子動物園学芸員〉
写真撮影も筆者

ゾウの動物園史 (3)

——猛獣舎完成に沸く



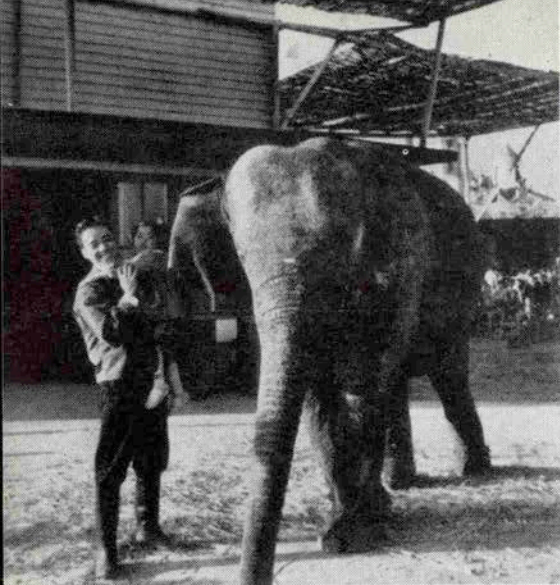
一九五〇年六月。

神戸産業博覧会終了後（通称、神戸博）跡地の一部（六三、〇〇〇㎡）に諏訪山動物園の一部を移し王子動物園をつくることに決定。閉鎖中の旧諏訪山動物園を再び市営として再開、移転の準備を始めた。

一九五〇年九月二八日。

前号記述のようにアジアゾウ（諏訪子）を導入。同時にヒグマ、ニホングマ、ネコ科の猛獣としてヒョウとクロヒョウが到着。さらにタイワンザル、ベリカンなども次々と輸入を始めた。

旧諏訪山動物園は太平洋戦争中（一九四三～四年）にかけてヒョウ、トラ、ライオン、オオヤマネコなどを薬殺等で処分したため、その剥製をオリの中に並べ敗戦後の学童に一時期見せていた。その剥製の猛獣舎に本物のヒョウが到着した時は感激ひとしおであった。一方、開園のため王子動



1952年、木造のゾウ舎の前で諏訪子と。

物園では、木造のゾウ舎、木造の爬虫類舎、小鳥舎、それに旧諏訪山動物園から運んできた鉄骨材を使用したライオン、トラ、クマ類の猛獣舎。そして丸型水禽舎（ベリカン、ハクチョウなど）の工事が急がれていた。しかし、一九五一年三月二〇日王子動物園開園には間にあわなかった。トラ、ヒョウ、クマ類は木造の屋根の下にオリのまま展示して置くという状況であった。そのため、到着したばかりのトラやヒョウが次々と死亡、猛獣舎の完成が本当に待たれた。

一九五一年十月にいに猛獣舎が完成。大半が木造の動物園という当時、鉄筋コンクリート猛獣舎が完成したのは開園六カ月後であった。

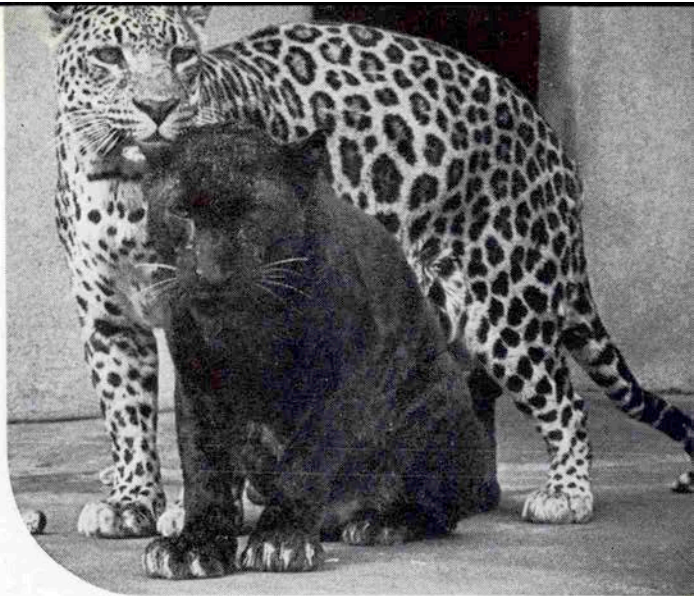
ライオン舎に入ったヒョウ

しかし、大形猛獣舎として完成したものの実のところライオンがまだ導入されていなかったのである。

そこで四室にヒョウ、クロヒョウ、ニホングマ、ヒグマの各二頭をとりあえず飼育することになった。

「クマは心配ないが、ヒョウでは格子巾が広すぎて抜け出るぞ」

急拠、格子巾の点検補強後、ヒョウ二頭を入れることになった。ヒョウが入っている移動檻は事務机二台をタテに並べた大きさで、前後は鉄格子、他は木製のため、内面にはスチール板が張られている。45キロのヒョウとオリとで130キロ。かなり重い、四人でようやく運んできた。何しろトラックやクレーン、フォークリフトなど夢物語りの当時である。



ボク達、仲良しです。

さて、ヒョウの入ったそのオリを飼育舎の扉に
がっちりと固定した。頑丈な台に置き、ワイヤー
ロープでくくりつけたのだ。いよいよ移動オリの
扉を上にも引抜くとヒョウはとび出てくる手順だっ
た。

「さて、さて。これはいかん。扉が外開きだ」
ヒョウが動物舎に入ったあと移動檻をのけなけ
れば扉を閉めることができない。

動物舎の扉は内開きに

人家の扉は外開きが多い。人間は握り、引くこ
との方が自然のようだ。しかし、動物たちは大半
が握力がない。むしろ頭で押したり手足で乗りか
かることが結果的に押すことになる。つまり外開

き扉は容易に開くことになる。逆に扉を引くとい
う行為は、かなり困難である。そこで動物舎は内
開きが常識となっているのだ。旧諏訪山動物園か
ら運んだこの獣舎扉は旧式だったのである。ヒョ
ウの敏しように足腰のジャンプ力は想像を絶す
る。僅かな扉の隙間を飼育員の頭越しにジャンプ
して脱走した事件が幾度もある。

話は六年後になるが、(一九五七年二月二四日)
親子連れの入園者がオリの前にさしかかった。カ
メラを持った父親が、うっかり人止柵をとび越
え、ヒョウを撮影しようとした。その時、児童も
また柵を越えオリに近づいた。その一瞬ヒョウが
とんだ。およそ三米奥に座っていたヒョウの攻撃
をさけることができなかったのだ。

「ギャー」格子から両手で児童の頭をヒョウがツ
メでかかえこみ咬みついたのである。

この時は入院中の学童に市長も見舞いに行かれ
た。また、かつて(一九三六年)上野動物園では
クロヒョウが、天井格子の隙間から脱走、大騒ぎ
のちマンホールに隠れたところを捕獲した。新
聞は号外を出しラジオで速報もした。警察の協力
を得て無事収拾した時は思わず涙が出たとは当時
の園長古賀忠道博士の話。東京市役所は、おわび
の新聞広告を出したのである。

つい最近、一九八九年一〇月五日、京大霊長類
研究所のチンパンジーが三頭(一頭はオランウー
タン)脱走。合カギを使った天才チンパンジー”
などと、各紙はオリの不備という人災事故の重大
さを全く報じなかったのは何故なのか。扉部分は
手指の出ないようメッシュ金網を重ね張りするこ
とが常識なのである。

愛読者のためのコミュニケーションサロン



神戸っ子倶楽部新会員 継続会員ご案内

■神戸っ子倶楽部では、ただ今会員を募集しています。会員の方には「月刊神戸っ子」を1年分お届けします。また、神戸っ子倶楽部の会報として、「月刊神戸っ子」の誌面上に、「神戸っ子倶楽部ニュース」を毎月掲載、会員の動きなど様々な情報を提供します。さらに年2回、文化性の高いイベント（コンサート、美術展、演劇など）に特別割引または無料でご招待いたします。年会費（入会金を含む）は1万円です。

神戸っ子倶楽部を愛する人たちのカルチャークラブ「神戸っ子倶楽部」。あなたもご入会になって豊かな神戸っ子ライフをお楽しみになりませんか。

会員の方は有効期限をお確めのうえ、継続会員として年会費をお納めください。

□入会申込・お問合せは——

〒650 神戸市中央区東町113ノ1 大神ビル9F
テレホンサービス（24時間）
TEL・078-802-3531
サービス No. 48. BOX No. 00012

★ Kobecco club 会員情報

K・F・S 15周年記念
ファッション シンポジウム

“神戸なに色 どんな街？”

参加料10,000円（懇親パーティー料含）を9,500円に



講師：西田 勤（桂文珍）氏

11月25日（土）PM3:00～PM8:00
於 神戸商工会議所

神戸をファッション都市化する為、活動している K・F・S が設立15周年を記念して、シンポジウムとパーティを催します。当日は大学講師までこなすスーパータレント西田 勤（桂文珍）氏を招いての基調講演を行う他、パネeldiysカッション、小山乃里子司会による IN KOBE 交流パーティ等、ファッションナブルでちょっと知的なプログラムが、盛りだくさんです。

'89 Autumn—あなたは芸術の秋？ グルメの秋？



「松方幸次郎の肖像」

□松方コレクション展

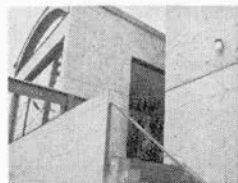
明治の神戸経済界の巨人・松方幸次郎が壮大なロマンと巨費をもって収集した「松方コレクション」が、11月26日まで神戸市立博物館で開催中。世界三大美術コレクションといわれる豪華絢爛たるこの「松方コレクション展」に会員の方に限り無料御招待。但し数に限りがありますので申込みはお早めに。

□ハンター坂倶楽部Éより美味しい秋をあなたに！

食べること、楽しむことを大切にする仏料理レストラン・ハンター坂倶楽部Éの「四季の鑑賞メニュー」（8,000円）が30% offの優待券を10名様にプレゼントします。日頃、忙しい時間を過ごしている都会の中にあなにこそ、ゆったりと味わってほしいそんな素敵なレストランで秋を楽しんでください。

★上記のチケットを御希望の方はハガキに住所・氏名・Tel を明記の上神戸っ子倶楽部チケット係までお送り下さい。

深まりゆく秋
心地よいひとときを...



■第13回井植文化賞表彰式 井植記念会創立20周年記念パーティ 先駆けて、今花開く 地域文化を育んで20年



<上左>井植理事長を囲んで喜びの受賞者の方々。<上右>井植理事長と亀山常務理事
<下左>三洋電機重文会によるフォーク演奏。<下右>貝原県知事、石井市民生局長、井植三洋電機社長（左から）

三洋電機機軸の創設者、故井植歳男氏の私財によって設立された財井植記念会（井植貞雄理事長）主催による第13回井植文化賞の表彰式と、同会創立20周年記念パーティが、10月17日、オリエンタルホテルで行われた。

今回の受賞者は、今竹七郎（文化芸術）、田中千賀子（科学技術）、兵庫ボランティア協会（社会福祉）、ブナを植える会（地域活動）、ひょうご経済人（報道出版）、神戸YMCAクロスカルチャルセンター（留学生ホストファミリープログラム（国際交流））の合計6部門、2名4団体（敬称略）

各部門の選考委員より、各氏の受賞に至る経緯が報告された後、表彰式が行われ、受賞者を代表して田中千賀子さんが「兵庫県の皆様に業績を評価して頂いての受賞と受け止めています。これを励みとして努力を続けていきたいと思っています」と述べた。

引き続き開かれた記念パーティでは、貝原県知事と石井市民生局長より祝辞が述べられ、いなみの学園コーラス部の合唱に大きな拍手が寄せられた。

なお、20年の同財団活動で井植文化賞76人、奨学金支給837人、高齢者支援13390人、社会福祉18298人等の多くの人々への援助や表彰が行われた。

話題のひろば

<II>

■第13回ローズガーデン美術公募展

特選は上条信浩氏の “キノミキノママ”に



秋晴れのもと、ローズガーデン中庭で入賞作品を前に、審査も終わって
なごやかに勢揃いの審査員の方々とスタッフ。

北野で生まれ育ったまさしく手作りの芸術の場「第13回ローズガーデン美術公募展」の審査委員会が、10月18日(水)に北野・ローズガーデンにおいて行なわれた。当日は晴天に恵まれ、吹抜けの中庭に作品を並べ、厳格な審査が四時間余に亘って進められた。

今年のテーマは自由。“もう一度原点に戻り若さあふれる観点で見つめ直したい”の主旨のもと、総出品数99点、出品作家61人と多数の応募があった。

出席審査員、赤根和生、泉茂、佐藤廉、増田正和、元永定正、弓倉恒男、小泉美喜子の各氏により、ローズガーデン大賞には“キノミキノママ” 上条信浩(生駒市在住)が、奨励賞には“B・A・K E・R・A・T・S・U・T・A (B)” 大坂博子(兵庫区在住)などが決定した。上条氏は昨年も入選、大坂氏も昨年の入賞のメンバーで、共に新進気鋭の作家である。

「今年の作品は、全体にまとまっていました。それが良いことか悪いことなのかは分かりませんが、凝ったものも多く、立体作品に面白いものがありました」との審査の総評であった。

尚、ポर्टアイランドの画廊ポルティコにおいても、ローズガーデン美術公募展受賞者展が、11月1日～11月12日開かれている。